

環境カウンセラーちば

第53号
 特定非営利活動法人
 環境カウンセラー
 千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
 地球温暖化対策、廃棄物対策、水環境問題、環境教育・環境学習、環境経営システムのことなど、お気軽にご相談下さい。

2018年度環境カウンセラー千葉県協議会運営方針

理事長 見並 勝佳

先の5月20日に開催した通常総会において2018年度事業計画と予算案が承認され、新しい年度に切り替わっての活動がスタートしました。私、見並勝佳が引き続き理事長を務めます。会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。この機会に、環境カウンセラー千葉県協議会の活動について常々考えていることを述べさせていただき、今年度の運営方針とさせていただきます。

先ず、組織運営においては、「会員数の漸減」と「高齢化」で、会員数が93名(平成30年4月1日現在)となりました。簡単には解決策を見え出せない難問ですが、自力でしか解決できない課題です。頭を抱え込むのではなく、設立20周年を迎えたEC千葉が挑戦すべき課題と捉えて、前向きに取り組みます。一方で、世代交代的な比較的若手の方の入会もあります。今後は、皆様の努力と協力で改善した財源を協議会活動の活性化にいかにつなげるかを考える時期です。



感謝状贈呈者と見並理事長

県・市町の施策への協力、環境学習応援団活動、各地の環境イベントへの参加の拡充

「外部に開かれた活発な活動」を「楽しく行う」を組織運営の基本とします。

従来からの浄化槽講習会は県主催だけでなく野田市単独でも行う予定です。

環境学習応援団活動では、11月16日に旭市で開催される新川汚染防止推進大会(新川汚染防止対策協議会主催)へ講師派遣することになりました。昨年秋の県HP登録以来の第一号です。水環境対策センターが対応します。他の市町からの要請を期待して広報活動を強化します。

皆様が活躍する地元での環境イベントに積極参加いたします。外部団体との共催行事、外部の方が参加できる自然観察会、講演会や施設見学会等の開催回数が増大を図ります。現状の計画にないものは予算化して推進していきます。会員の皆様のごアイデアをご提案ください。

会員の皆様の力を結集し、EC千葉として最大限の成果をあげてゆくために、各部・センターが連携し、組織全体として活動に取り組みます。各センターの活動も外部への発信をキーワードに活動します。外部へ情報発信と会員との双方向情報交流の場としてホームページの拡充と適時なアップデートを行っていきます。皆様の積極的な投稿をお待ちしています。

20周年事業として、設立以来20年間にわたり協議会を支えてくれた先輩方に総会後に感謝状をお渡ししました。これに加えて、EC千葉の20年間の歩みをきちんと整理する記念誌発行事業を行います。資料収集、編集等に会員の皆様のご協力をお願いいたします。発行はこの秋以降を予定していますが、この事業を協議会再活性化の起爆剤としたいと考えています。

この6月には、辻川毅さんが環境保全功労者等環境大臣表彰、青木誠さんと久保田隆さんがECU理事長表彰を受けました。皆様と共にお祝いを申し上げます。幸先の良いスタートです。

第16回通常総会の開催と設立20周年記念事業の実施

平成30年5月20日(日)に、第16回通常総会とEC千葉設立20周年記念事業を千葉市民会館特別会議室において行いました。

I. 第16回 通常総会 (13:30分~14:20)

II. EC千葉設立20周年記念事業

(1) 20年継続会員への感謝状贈呈 (14:20~14:55)

(2) 特別講演 (15:10~16:50)

演題: 「地質時代に日本の地名が刻まれるか? 千葉時代(チバニアン) 国際模式地認定への展望」

講師: 国立極地研究所 准教授(理学博士) 菅沼 悠介 氏

(3) 20周年記念懇親会 (18:00~20:00) [会場: JR千葉駅ビル7階「ペリエホール Room C」]

I. 第16回 通常総会

第16回通常総会は、会員総数93名に対し87名が出席(うち、委任状提出43名)して開催され、見並理事長が議長となり、次の議案を審議し、いずれの議案も出席者全員の賛成で原案どおり承認されました。会員の皆様のご協力に役員一同深く感謝いたします。

- (1) 第1号議案「平成29年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「平成29年度監査報告」
- (3) 第3号議案「平成30年度事業計画案ならびに予算案」
- (4) 第4号議案「定款の変更」

(定款を変更する主たる目的は、法改正に伴い義務付けられた貸借対照表の広告をホームページで行うことにするためです。)

さらに、その他として事務局から報告された理事1名の理事辞任が承認されました。

II. EC千葉設立20周年記念事業

(1) 20年継続会員への感謝状贈呈

総会に続いて、次の17名の方へ見並理事長が「感謝状」を贈呈し、EC千葉の設立から20年間にわたり当協議会を支えていただいた功績を讃え、感謝の意を表されました。

なお、贈呈対象者17名のうち10名の方にご出席いただきました。

[感謝状の贈呈者]

有馬 富穂 様、大山 長七郎 様、加藤 元彦 様、川崎 英雄 様、倉田 智子 様、荒野 喆也 様
 捧 一夫 様、佐藤 素子 様、鈴木 優子 様、辻川 毅 様、長沼 明 様、野口 久 様、林 正徳 様、
 廣川 一男 様、本間 格 様、松本 源寿 様、山影 隆男 様 (17名)

(2) 20周年記念特別講演(「総会特別講演会(第27回環境セミナー)」)

感謝状の贈呈に続いて、20周年記念特別講演を国立極地研究所菅沼悠介准教授に行っていただきました。

せっかくの機会であるのでEC千葉の会員でない方にも公開して開催し、出席者55名のうち会員外から8名の参加がありました。

演題: 「地質時代に日本の地名が刻まれるか? 千葉時代(チバニアン) 国際模式地認定への展望」

講師: 国立極地研究所 准教授(理学博士) 菅沼 悠介 氏

(3) 20周年記念懇親会 (18:00~20:00) [会場: JR千葉駅ビル7階「ペリエホール Room C」]

さらに、会場を新装なったJR千葉駅ビルの「ペリエホール」に移し、20周年記念懇親会を行った。

千葉市環境保全部、千葉県環境財団、千葉県環境保全センターからご来賓をいただき、35名の出席者で盛大に催すことができました。

平成30年度環境保全功労者等環境大臣表彰の受賞報告 (環境保全功労者・地域環境保全功労者・地域環境美化功績者 表彰)

環境省では、毎年6月の環境月間に、「環境保全」、「地域環境保全」および「地域環境美化」に関して、顕著な功績があった者(または団体)に対して、その功績をたたえるため、毎年度、環境大臣による表彰を行っています。

今年度は、6月13日に東京のグランドアーク半蔵門にて、53名、81団体が表彰されました、このうち「**地域環境保全功労者**」部門で、NPO法人環境カウンセラー千葉県協議会「辻川 毅」(理事・地球温暖化対策センター長、千葉県白井市在住)が受賞の荣誉に拝しました。

なお、この度の受賞事由は、『白井市環境審議会会長として環境保全施策の推進に寄与したのをはじめ、多年にわたり千葉県内全域で普及啓発活動に従事した』と講評いただきましたが、受賞に当たっては、環境カウンセラー千葉県協議会の皆様、環境省関東地方環境事務所の皆様、千葉県環境施策推進部門の皆様等のご支援の賜物と厚く感謝いたします。



今後も皆様とともに地元千葉県、白井市の環境力高揚に少しでも寄与できればと存じます。(記 辻川 毅)

NPO法人環境カウンセラー全国連合会 理事長表彰を受賞

2018年6月22日に環境カウンセラー全国連合通常総会開催され、EC千葉から國廣隆紀氏が次期ECU理事に選任され、青木 誠理事が環境保全功労者として、久保田隆理事が環境保全功績者としてECU理事長から表彰されました。

持続可能な社会づくりに貢献する！
NPO法人環境カウンセラー全国連合会
Environmental Counselors Union
<https://www.minnaneoec.com/>

home ESD by ECU 環境カウンセラーESD学会 忘れないうで 福助! セミナー 環境教育インストラクター
環境カウンセラー 会員だより 組織概要 正会員(全国30団体) 賛助会員 ECU行事 出版物

☆ NEWS

2018-06-19 平成30年度ECU理事長表彰受賞者一覧表
6月22日の総会で表彰式を行います。
次の方が受賞されますのでご報告いたします。 受賞者8名のうちEC千葉から2名

No.	所属	氏名	種別	主要功績
1	千葉県協議会	青木 誠 (E.C)	功労	日立メディアで公害防止・ISOに携わる。EC千葉では理事、EMS支援センター副長として企業支援に尽力した。
2	千葉県協議会	久保田 隆 (E.C)	功績	排水処理の専門家。EC千葉水環境対策センター副長、千葉県の講習会講師を10年勤める。水環境学会活動奨励賞を受賞。

[青木 誠 氏のご挨拶]

この度はECU理事長功労者表彰をいただきありがとうございました。表彰に当たり、EC千葉の理事長や皆様にご尽力をいただきましたことに感謝いたします。

環境カウンセラーとしては、2002年4月1日付で事業者部門に登録しました。EC千葉への入会は同年5月頃で、EMS支援センターに所属して副センター長を拝命しました。また、会計を一期務めさせていただきました。実務としてはISO14001内部監査員養成講座の講師やエコアクション21の審査、コンサルなどを担当させていただいています。微力ですができる範囲でEC千葉の活動に協力したいと思います。

[久保田 隆 氏のご挨拶]

環境保全功績者の賞を頂くにあたり、水環境対策センターのメンバーの皆様にご支えていただいたことに大変感謝しております。

水環境対策センターの浄化槽講習会が発足して10余年になります。ここまで浄化槽講習会が長期的に渡り継続できたのは千葉県との協働事業に参画できたことが大きな要因だと思います。

浄化槽の適正管理を行うことがより良い水質を維持するため最善の近道であると思います。

これまで培ったもので、すこしでも一般の方々がより環境浄化に関心を持っていただくように環境啓発活動を継続していきたいと思っています。

この度は誠にありがとうございました。

第16回通常総会（第27回環境セミナー）特別講演

「地質時代の日本の地名が刻まれるか？」

千葉時代（チバニアン）国際標準模式地認定への展望

皆さんは、「チバニアン」という言葉をテレビ、ラジオ、新聞・雑誌だけでなく、千葉県の広報や市の広報で目にし、耳にすることが多いことでしょうか。ところが「チバニアンってなんなの？」また、「地球磁場の逆転??？」という言葉を知って初めて聞く方が多いのではないのでしょうか？

千葉縣市原市田淵地区の地層「千葉セクション」がおおよそ77万年前から12万6000年前までの時代の特徴を明瞭に示しているとして国際機関に認定申請中です。「チバニアン」はラテン語で千葉時代という意味です。千葉県にとっても、日本にとっても明るい話題です。その疑問を解き明かしたいと、5月20日（日）の第16回総会後の特別講演で、国立極地研究所の准教授菅沼悠介博士による表題のような「チバニアン」の講演をお願いしました。

菅沼先生は、国際機関への申請・提案・討議に最前線で直接携わっており、国立極地研究所（立川市）に勤務されております。専門分野は第四紀地質学・古地磁気学。特に野外調査から地球の気候変動と南極氷床の融解メカニズムの解明に取り組まれており、南極地域観測隊に過去5回参加し、南極氷床上で150日以上のカンパ経験をお持ちです。

講演では、まず、NHKの「チバニアン」についての紹介ニュースをはじめ、みなさんの疑問にわかりやすく説明して頂きました。

講演の要旨を以下にQ & A形式によりまとめました。

Q:チバニアンとは？

また、地質時代とは？（何故、有名になったのか？）

A:地球46億年の歴史は、生物の進化や絶滅など、それぞれの時代を特徴付ける地球規模の変動を目安として、各地質時代に区分されています(図2を参照)。

そして、地質時代の名前は、各時代の境界をもっともよく表す地層として、世界で1か所だけ選ばれた「国際標準模式地」(GSSP:Global Boundary Stratotype Section and Point)の地名にちなんで名付けられます。

実は、1960年代にはすでに地磁気地質調査が故大阪大学川井直人教授によって行われていました。

今回の快挙は、昨年6月、国立極地研究所や茨城大学・千葉大学などの日本の研究チームの綿密な調査と研究により、市原市田淵の地層（千葉セクション）を「国際標準模式地」として国際学会に申請し、地質時代名を「チバニアン」とすることを提唱しました。ほかにイタリアからも2か所の地層の申請がありましたが、1次審査では「チバニアン」が観察地点として優れていると評価され選ばれたということです。

Q:77万年前で時代が区切られる理由は？

A:77万年前には、地球で最後の「地磁気の逆転」が起きました。この「地磁気の逆転」を境にして地質時代を区分することになりましたが、その痕跡が良好に残っているのが市原市田淵の地層です。



講演される菅沼准教授



図1:千葉セクション(千葉縣市原市)の位置

図2 主な地質時代の区分



Q: 地磁気の逆転って何? 逆転するとどうなるの?

A: 地球は、磁石のように地磁気と呼ばれる磁気を帯びています。コンパスの針のNが北を指し、Sが南を指すのは、地球に地磁気があるからです。地磁気は、宇宙から降り注ぐ有害な粒子や放射線を防ぐ役割(銀河宇宙線など)があり、私たち生物にとって、バリアとしてなくてはならないものです。「地磁気の逆転」とは、N極とS極が逆になること、つまり地磁気の向きが逆になることです。

地球の長い歴史の中で、何度も「地磁気の逆転」が起きていることが分かっていますが、その原因はまだわかっていません。もし逆転が起これば、世界中の電子機器に大きな影響が出る恐れがあるといわれています。

Q: どうして地層を調べると、地磁気の向きがわかるの?

A: 岩石の中の、特に鍵となるのは、磁鉄鉱(じてっこう)という鉱物の粒子です。磁鉄鉱は磁性を持っていて、地磁気の影響を受けます。そのため、地層の中に含まれる磁鉄鉱を分析することで、地層ができた時代の地磁気の向きを特定することができます。

市原市田淵の地層に含まれている磁鉄鉱を分析した結果、地磁気の向きが逆転する様子がわかったというわけです。

Q: 市原市田淵の地層の特徴は? なぜ、1次審査で選ばれたの?

A: 地磁気の逆転現象をはっきりととらえることができる鉱物の資料がそろっていること。それが、1次審査で田淵の地層が選ばれた主な理由です。さらに、この地層は他の候補地と比べて堆積速度が速いため、微化石や花粉など、地層ができた時代の環境を知ることができる情報が豊富に含まれています。

また、田淵の地層には、「白尾(びやくび)火山灰」と呼ばれる、地磁気逆転の境目あたりにある火山灰層があります。火山灰が海底に降り積もり、その後に隆起した幅2センチくらいの地層です。この地層の年代測定をすることで地磁気逆転の時期を「約77万年前」と特定することができました。

Q: 「千葉ニアン」はいつ正式承認されるの?

A: 今後、さらに3段階の審査を経て正式に認められた場合には、現在「中期更新世」と呼ばれている約77万年前～約12万6千年前の地質時代の名称が「チバニアン」となり、地質時代に初めて日本の地名がつくこととなります。

話題性といい、タイミングのよい記念講演会になりました。多数の参加者に感謝しております。



講演の様子

※「チバニアンについて」は、「ちばぎんLounge 2018 SPRING NO.78」、「ちいき新聞 Vol.171」および国立極地研究所HPを参考にさせていただきました。

(文責 吉田昌弘)

新入会員紹介

荒川 勤 (あらかわ つとむ) 君津市

約40年流通業に従事して参りました。建設部門が長く、環境に関する取組も自然に行うようになりました。主に国産材、FSC認証材を使った店作り等です。

4年前にうちエコ診断士の認定を受け、退職後は省エネ活動の真似事を行い、本年紹介により「地球温暖化防止活動推進員」、「地球温暖化防止コミュニケーター」の任命と本会への入会が重なりました。

今後 より地域に根ざす環境活動を推進して参りたく思っております。

綿貫 沢 (わたぬき たく) 成田市

4月より皆様のお仲間させていただきました。教職生活(小学校)を離れて9年になりました。在職中は、環境教育部会に所属し、主に教員を対象に環境教育の研修会の企画・運営をし、環境教育の進展に努めて参りました。来年は、私が入会しております全国小中学校環境教育研究会の全国大会が、富里市で開催されます。

ご協力くださると幸いです。

なお、現在は、千葉駅前で通信制高校に勤務しております。(非常勤) よろしくお願ひ申し上げます。

吉田 篤志 (よしだ あつし) 千葉市

7月に入会させて頂きました。1988年より約25年間、小売業の会社に在籍しており、入社当初は物流を担当しておりました。当時コンビニエンスの物流に対する世間の風当たりは強く、CO2の削減に躍起になっていたことを思い出します。在籍中にISO内部監査員・エコ検定取得など、また、退社後はうちエコ診断士を取得しました。EC千葉では地球温暖化防止につきまして、啓蒙活動を中心に活動を始めたかと考えております。

今後の行事予定 (開催案内)

(詳細はEC千葉HPで案内します。)

☆ 県内自然観察会

行き先：南房総市丸山川
(水辺の生物調べ)

実施日：平成30年8月5日(日)

☆ エコメッセ2018 in ちば

開催日：平成30年10月8日(月・祝)
会場：千葉市・幕張メッセ

☆ 企業環境セミナー

開催日：平成30年11月16日(金)
会場：千葉商工会議所14F第2ホール

総務部からのお礼

2018年1月～7月の間に下記の方から当協議会へご寄付いただきました。ありがとうございました。

佐藤幸男様 30,000円
佐藤ミヤ子様 2,500円

広報 環境カウンセラーちば 第53号 (発行日 2018年7月20日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (発行責任：事務局長 橋本 正)
(編集担当：事務局次長 服部達雄)

事務局：〒275-0012 習志野市本大久保 4-9-4

(Tel & Fax) 047-478-3237 (E-mail) ta-hashimo@nifty.com

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)